

注意事項			公印使用承認印	施行日等	
起案日	平成31年4月25日		●	1/18	
供覧日					
文書番号	31文芸第63号				
決裁種別	紙				
施行方法	郵送		施行文書確認済 <input type="checkbox"/>	システム入力済 <input type="checkbox"/>	
備考			起案者氏名	[Redacted]	
			課 (地方機関) 文化芸術課		
			グループ (課) トリエンナーレ推進室		
題名	平成31年度文化資源活用事業費補助金 (日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業)				文書種別
					伺い
課長	室長	[Redacted]			
山	判治	[Redacted]			
保存期間	5年	標準ファイル名	国際芸術祭 (5年)		
伺い文					
<p>このことについて、平成31年4月25日に2019年度「日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業 (文化資源活用推進事業)」採択されたことに伴い、交付申請手続きを行う必要があります。</p> <p>つきましては、別紙のとおり申請してよろしいか。</p>					

(様式1)

31文芸第 63 号

平成31年4月25日

文化庁長官 殿

申請者 愛知県

所在地 名古屋市中区三の丸1-3-2

代表者氏名 愛知県知事 大村秀章 印

平成31年度文化資源活用事業費補助金(日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業)
交付申請書

標記補助金の交付を希望しますので、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)第5条及び文化資源活用事業費補助金(日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業)交付要綱第5条の規定に基づき、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 事業の区分

文化資源活用推進事業

2 事業の名称

「あいちトリエンナーレ」における国際現代美術展開催事業

3 実施期間

平成31年4月25日から平成32年3月31日まで

※事業内容に応じて、その他必要な書類を添付すること。

平成31年度 文化資源活用推進事業 実施計画書

補助事業者名	愛知県
担当部署	県民文化局文化部文化芸術課トリエンナーレ推進室
担当者職・氏名	
所在地	(〒461-8525) 名古屋市中区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター内
TEL	052-971-6182 / FAX 052-971-6115
E-mail	triennale@pref.aichi.lg.jp

1. 実施計画の名称	「あいちトリエンナーレ」における国際現代美術展開催事業
2. 実施計画の期間	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日
3. 実施計画の趣旨・目的	<p>世界的な都市圏間競争の中で、存在感を発揮する中京大都市圏を実現していくためには、国内外から人を惹きつける魅力やその発信が不可欠であるが、愛知県は、わが国でも有数の産業力や経済活力を誇りながら、それを地域の良好なイメージや都市としての魅力に必ずしも結びつけることができていない状況にある。</p> <p>こうした状況を受け、本県は、中長期的な観点から愛知の進むべき方向性を示した「あいちビジョン2020」の中で、「文化・スポーツ・魅力発信」を重要政策課題の一つとしてを位置づけ、本県の魅力を国内外に発信し、誘客促進を図るために、現代美術を中心に舞台芸術を含めた複合的国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」を継続的に開催し、現代美術の創造発信拠点としての地位確立を目指している。</p> <p>本実施計画では、2019年に開催する「あいちトリエンナーレ2019」において、その中心事業として国際現代美術展を開催することにより、新たな芸術を創造・発信するとともに、作品を愛知芸術文化センターや名古屋市美術館などの美術施設だけではなく、地域の景観、歴史的建造物を活用して、名古屋市内や県内地方都市の「まちなか」でも作品を展示することにより、アートを切り口に、地域の魅力をPRする。</p> <p>こうした取組みは、「日本博」のテーマである「日本人と自然」と密接に関連し、地域の風土、歴史、文化等の魅力を国内外へ発信するものであり、我が国の歴史と文化の重層性を世界にアピールする観光インバウンド拡充に資する取組となる。</p> <p>また、「あいちトリエンナーレ2019」本展と同時期に開催する「モバイル・トリエンナーレ」や、本展開催年以外に県内各地域で現代美術等の普及を図るため開催する「トリエンナーレ地域展開事業」においては、県内の各地域の自然・文化・観光資源を活かした会場設定や、地域の特性に配慮した細やかな事業展開を行う。</p> <p>さらに、将来、「あいちトリエンナーレ」を始め日本全国や世界で活躍する若手芸術家の発掘・育成を目的とした展覧会を開催するなど、文化芸術の裾野を広げる取組を計画的かつ継続的に展開する。</p> <p>今後、本県では、リニア中央新幹線開業や2026年の「アジア競技大会」の開催などにより、さらなる交流人口の拡大が見込まれることから、本実施計画の取組により、この地域の文化芸術の魅力を一層高めるとともに、国内外に魅力を発信することにより、世界における愛知のアイデンティティを強固なものとし、国際的なパートナーシップやネットワークの構築を推進する。</p>

4. 実施計画の推進に関する基本的な方針(文化振興条例等との対応等)

2018年3月27日に施行された「愛知県文化芸術振興条例」では、次のとおり規定している。

第5条第2項、「県は、文化芸術の振興に当たっては、文化芸術団体、民間事業者、大学その他の関係者との連携に努めるとともに、これらの関係者間の連携が図られるよう努めるものとする。」

第8条「県は、伝統芸能及び民俗芸能の継承及び発展を図るため、これらの芸能の公演、活動等への支援その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。」

第11条第1項「県は、文化芸術に関する地域間交流及び国際交流の推進を図るため、文化芸術団体、民間事業者、大学その他の関係者と連携しつつ、芸術祭等の文化芸術に関する催しの開催その他の必要な施策を講ずるよう努めるものとする。」

第11条第2項「県は、愛知芸術文化センターの美術館、劇場等からなる複合機能の活用等により、新たな文化芸術を創造し、国内外へ発信するために必要な施策を講ずるよう努めるものとする。」

第11条第3項で、「県は、前二項の施策を講ずるに当たっては、観光、スポーツその他の関連分野における事業との連携に努めるものとする。」

本実施計画による事業では、第5条第2項、第11条第1項に対応した取組として、県内の芸術大学及び専門学校等に、作品制作のサポートを依頼し、最先端の芸術の制作に携わる機会を提供する。

第8条に対応した取組として、まちなか展開において、県指定文化財の伊藤家住宅(「愛知県文化財保護条例」第4条第1項)や国登録有形文化財の喜楽亭などの文化財や生活文化等を活用した取組を行う。

第11条第2項に対応した取組として、愛知芸術文化センターの美術館、劇場等からなる複合機能の活用した「あいちトリエンナーレ2019」国際現代美術展を開催する。

第11条第3項に対応した取組として、「ラグビーワールドカップ2019」などのスポーツイベントとの連携にも積極的に取り組んでいく。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、2026年のアジア競技大会の開催に向けて、愛知の多様な文化事業を展開し、本県の文化の魅力を発信していくために、文化プログラムの推進を図ることとしている。

5. 実施計画の概要

■2019年度

・「あいちトリエンナーレ2019」において国際現代美術展を開催

期間:2019年8月1日から10月14日

主な内容:愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内まちなか(四間道・円頓寺)、豊田市美術館、豊田市駅周辺で国際現代美術展を展開。

■2020年度

・あいちトリエンナーレ地域展開事業(現代美術展、若手芸術家の育成の実施(予定))

期間:2020年5月から2021年3月

主な内容:愛知県内での現代美術展及び学校へのアーティスト派遣事業の実施、愛知芸術文化センターでの若手芸術家育成事業、愛知県内での地元文化団体活用事業

・「あいちトリエンナーレ2022」の企画概要の作成(予定)

■2021年度

・あいちトリエンナーレ地域展開事業(現代美術展、若手芸術家の育成の実施(予定))

期間:2021年5月から2022年3月

主な内容:愛知県内(2020年度とは別の地域)での現代美術展及び学校へのアーティスト派遣事業の実施、愛知芸術文化センターでの若手芸術家育成事業、愛知県内での地元文化団体活用事業

・「あいちトリエンナーレ2022」の詳細プログラムの策定(予定)

■2022年度

・「あいちトリエンナーレ2022」の開催(予定)

期間:2022年夏から秋

主な内容:愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか等での現代美術展を始めとした国際芸術祭を展開

■2023年度

・あいちトリエンナーレ地域展開事業(現代美術展、若手芸術家の育成の実施(予定))

期間:2023年5月から2024年3月

主な内容:愛知県内(2020年度とは別の地域)での現代美術展及び学校へのアーティスト派遣事業の実施、愛知芸術文化センターでの若手芸術家育成事業、愛知県内での地元文化団体活用事業

・「あいちトリエンナーレ2025」の詳細プログラムの策定(予定)

6. 「日本博」の総合テーマとの関連

あいちトリエンナーレでは、従来から、最先端の芸術作品を、美術館だけでなく名古屋市内や県内地方都市の「まちなか」にも展示してきた。

例えば、「あいちトリエンナーレ2013」における岡崎市のまちなか展示では、地域に恵と同時に洪水という災厄をもたらす矢作川にまつわる信仰を踏まえた展示が行われるなど、来場者にその地域固有の風土や歴史について思いを巡らせる作品展開を行ってきている。

また、2019年に開催する「あいちトリエンナーレ2019」では、名古屋市内のまちなか会場をこれまでの名古屋市中区の「長者町」から西区の「四間道・円頓寺」地区に変更する。

「四間道」周辺は、江戸時代初期に熱田台地の北西端の自然の地形を生かして名古屋城が築城された際、資材の運搬のため台地の西端に開削された運河「堀川」沿いの商家の町として発展し、堀川の水運を利用した商家の建物、火災の延焼防止のために作られた幅の広い道筋や蔵、この地域独特の民家の屋根の上に祀られた祠「屋根神」など、江戸時代以来の街並みの風情が、名古屋駅からの徒歩圏内という立地ながら今なお色濃く残されており、名古屋市の「町並み保存地区」、「都市景観形成地区」に指定されている。

「円頓寺」周辺は、明治期以降、周辺に名鉄瀬戸線、名古屋市電上江川線が開業し、名古屋駅と合わせて交通の要衝として、多くの利用客が行き交う商店街として発展し、廃線とともに一時衰退するものの、名古屋駅近くの昭和レトロの雰囲気を残す商店街として、空き家や古い建物の再利用が図られ、近年注目を集めている。

こうした歴史がある「四間道・円頓寺」のまちなかに現代アートの作品を展示することは、最先端の現代芸術だけでなく、この地域の歴史、風土、魅力を多方面に発信することとなり、日本人が長い歴史の中で積み上げてきた重層的な文化の再発見に繋がるものと考えられる。

7. 期待される文化的・社会的・経済的効果等

※本補助金を受給することにより向上が見込まれることについても記載

・2020年の東京オリンピック、2026年のアジア競技大会、2027年度のリニア中央新幹線開業といったシンボルイヤーを念頭に、本事業の実施で、本県の魅力を国内外に発信することにより、訪日観光客を含めた来県者数や観光消費額の増加が期待できる。

・県民、NPO・ボランティア、企業、市町村等との幅広い連携・協働をベースとしたトリエンナーレの開催により、多様な文化芸術の交流、ボランティア活動の参加機運の広がり等が期待される。事業実施により、県民の文化芸術に対する関心が高まるのみならず、地域文化を育み、地域全体の魅力や活力が高まっていくことを目指す。

・文化庁補助金を受けての大規模な現代美術展の開催により、受入れ施設や地域(市)の学芸員、作品制作に協力する地元の芸術関係者にとって、最先端の現代芸術に直接接する機会となるだけでなく、大規模な国際展の運営経験を積む絶好の機会となるため、地元の若手芸術家や、現代美術を支える人・組織が育成される。

・身近にある商店街や駅前施設、居住する地域の歴史・文化資源である建造物を使用した展覧会の開催により、芸術に対する関心が少ない人、高齢者や障害者、子育て世代、子ども等全ての人々の鑑賞機会の充実・拡大を図ることができる。

・本事業の入場者数(予定:1年目約7万人、2年目約7万人、3年目約61万人)

(実績:H29年度69,617人、H30年度集計中)

・経済波及効果(予定:1年目約3億円、2年目約3億円、3年目約63億円)

(実績:H29年度314,000千円、H30年度集計中)

8. 文化芸術政策の実績

(1)創造都市ネットワーク日本に加盟	加盟年月日	
(2)ユネスコ創造都市ネットワークに加盟	加盟年月日	
(3)文化芸術創造都市で文化庁表彰を受賞	受賞年度	
(4)東アジア文化都市採択地方公共団体	採択年度	

9. 平成31年度の実施計画

(1) 平成31年度実施計画の趣旨・目的

「あいち文化芸術振興計画2022」に基づき、「文化芸術の力で心豊かな県民生活と活力ある愛知を実現」することを旨とするため、「あいちトリエンナーレ2019」において国際現代美術展を開催し、開催目的である

- ・新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献する。
- ・現代芸術等の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図る。
- ・文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図る。

の実現を目指す。

4回目の開催となる今回は、ジャーナリストの津田大介氏を芸術監督に迎え、「情の時代 Taming Y/Our Passion」をテーマに、ジャーナリスティックな視点を踏まえた最先端のアート作品を展開する。

具体的には、差別、自死、ジェンダーなどの社会的なテーマについて、アートの立場から現実に存在する課題について、シロとクロに単純化した対立軸による解釈ではない新たな視点を提示することができる、アートの力を具現化する。参加アーティストの選定にあたっては、あえて男女比が1:1になるように選定し、多くの分野において存在し、アートの分野にも存在する男女比の偏りについての問題提起をするなど、世の中の実情を芸術祭の中で考えさせるプログラムとする。

また、愛知芸術文化センターなど美術施設だけではなく、固有の自然環境に根差した歴史的背景を持つ「まちなか」でも、有形文化財の建物や遊休資産を活用して、その風土を生かした作品を展示し、現代美術への関心のすそ野を拡充する。

これらの取組により、ラグビーワールドカップ2019が開催されるなど、交流人口の拡大が見込まれるこの地域で、愛知発の文化芸術の魅力を一層高め、国内外に余すことなく発信して交流を図ることで、世界における愛知の文化芸術のアイデンティティを確立し、地域の活性化に寄与することはもちろん、我が国の歴史と文化の重層性を世界にアピールすることになり、観光インバウンド拡充に資することを目指す。

(2) 平成31年度実施計画の内容

あいちトリエンナーレ2019(国際現代美術展)

芸術監督 津田大介(ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)

会 期 2019年8月1日(木)～10月14日(月・祝)(75日間)

会 場 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか(四間道・円頓寺)、豊田市美術館、豊田市駅周辺

・あいちトリエンナーレ2019の基軸となる「国際現代美術展」では、国内外の24の国と地域から66組の参加を決定しており、最先端の現代アート作品を展示する予定。

・愛知芸術文化センターや名古屋市美術館、豊田市美術館の美術館での展示を行うことはもとより、名古屋市内や豊田市内のまちなかでの空き店舗等を会場として活用し、県民が現代アートに触れる機会を高めるとともに、まちの魅力を引き出すなどの効果も見込む。

・特に、名古屋市内のまちなかとして今回初めて会場とする「四間道・円頓寺」は、愛知県の玄関口である名古屋駅から徒歩圏内にある、この地域において注目されているエリアであり、江戸時代から続く町並みを残す四間道と、昭和レトロを感じさせる商店街の円頓寺で構成され、空き店舗や歴史的建造物を利用してアート作品を展示するとともに、同時に「音楽プログラム」においてライブを展開し、現代アートに関心がない層にもアートの魅力を訴えかけ、同時に地域の文化資源の再評価、魅力の再発見につなげていく。

・豊田市においては、平成30年度に実施した地域展開事業の成果と経験を活かし、駅前の空き店舗の展示会場として活用による中心市街地の活性化や、市の文化拠点施設や歴史的建造物での展開により、まちの魅力や地域の歴史資源の再発見に引き続き取り組む。

・このほか、愛知県内を中心とした美術館やホール等で開催される、あいちトリエンナーレの趣旨やテーマに沿った優れた展覧会や愛知県内の文化芸術団体が行う様々な文化芸術事業を、「あいちトリエンナーレ2019」の連携企画事業として位置付け、企画段階からの参画や相互の事業の広報協力を行うことにより、県内各地域での現代アートへの関心を高めるとともに地域の文化芸術団体活動の活発化を図る。

【実施計画の概要(要約)】

※公表用に実施計画の概要の要約を100字以内で記載

国内外のアーティストによる最先端の現代アートを愛知芸術文化センターや地域の文化財・生活文化等を活用した「まちなか」で展示することで、地域経済の活性化及び観光インバウンド拡充に資することを目指す。

(3) 観光インバウンドの拡充に資する取組

・ヴェネツィア・ビエンナーレを始め、世界の主要国際芸術祭の主催者等が参加する国際ビエンナーレ協会(I BA)に平成29年から加盟しており、このネットワークや交流の場等を通じ、海外における「あいちトリエンナーレ」の周知を積極的に図る。

・国際交流機関と連携し、海外プレスを招聘し鑑賞ツアーを実施。「あいちトリエンナーレ2019」に関する記事を自国へ発信してもらうことで、海外広報の強化、外客誘致を図る。

・海外からの来場者に向け、WEBサイトの多言語化に取り組むとともに、チラシの多言語化、現代美術展のキャプションの多言語化を実施し、訪日外国人向けにサービスを充実させる。なお、国際現代美術展のメイン会場である愛知芸術文化センターでは、訪日外国人等観光客の利便性向上のため平成28年度にWi-Fi環境を整備済である。

・「あいちトリエンナーレ2019」においては、初めて専用アプリを開発し、作家・作品の解説や、会場の案内等の情報を多言語で運用する。

・作品の展示場所として、県指定文化財や国登録有形文化財の建物も活用し、現代美術作品はもちろん、この地域が誇る文化財のアピールにもつなげる。

・愛知県観光局等と連携し、「あいちトリエンナーレ2019」を「愛知・名古屋」の観光コンテンツとして海外の旅行者へ積極的に売り込む。また、地元旅行者に協力を依頼し、訪日外国人向けの着地型旅行を造成する。

・県内大学への外国人留学生、県内在住外国人等を「あいちトリエンナーレ2019」へ招待し、その感想や良かった点を母国語により、SNSで発信してもらうようにする。または、アート好きのコミュニティに発信してもらうよう試みる。

・出展作家の半数近い外国人作家が、作品制作のため、展示会場の下見や、地域の歴史や背景を調べるため、本県を訪れ、また、作品制作や展示作業を行う。そうした機会に、この地域の魅力をPRし、彼らのネットワークを活用した情報発信を推進する。

(4) 文化財・生活文化等の活用に関する取組

現代美術作品のまちなか展示会場とする「四間道・円頓寺」では、県指定文化財の「伊藤家住宅」をはじめ、戦前又は戦争直後に建築された長屋を、また、豊田市では大正期から昭和期の代表的な町家建築である国登録有形文化財の「喜楽亭」を活用し、アートと文化財双方の魅力を発信する。

また、昭和レトロの風情を残す円頓寺商店街では、アーケードの下に現代美術作品を展示するほか、ポップスやロックなどのポピュラーミュージックのアーティストを招いたライブパフォーマンスを実施する音楽プログラムを、会期中、継続的に展開し、現代アートに関心のない層にも、音楽を通じて、アートや文化財への関心を高める、魅力の発見につなげるよう誘導する。

(5) 障害者等のバリアを取り除く取組

作品展示予定会場について、地元の障害者団体にバリアの状況を事前に確認していただき、バリア除去の手法を相談して対応。

また、会期中には、視覚障害者や、聴覚障害者向けの鑑賞ツアーを実施する。

(6)平成31年度実施計画の達成目標	
参加者数の目標値	約600,000人(うち訪日外国人: 約30,000人)
経済波及効果の目標値	約6,330,000千円 ※あいちトリエンナーレ2019全体
観光インバウンド拡充の指標と目標値	<指標> 県外・海外からの来場者数の割合
	<目標値> 34.1%以上
社会的・文化的効果の指標と目標値	<指標> ①パブリシティ効果 ②県外・海外からの来場者数の割合 ③来場者の満足度
	<目標値> ①3,369,000千円以上 ※あいちトリエンナーレ2019全体 ②34.1%以上 ③80%以上
<目標値の積算根拠> ①②③ともにH28年度事業実施の際の実績値	
<効果検証の方法> 外部の専門機関による ①事業実施後にパブリシティ効果の算出 ②③アンケート調査の実施	
(7)平成31年度実施計画における芸・産学官連携・協力体制の状況	
連携する団体等の名称	
芸術家・団体等	参加アーティスト 70組程度
産業界	各種協賛企業
大学等	県内の芸術系大学、専門学校等
地方公共団体等	名古屋市、豊田市、(公財)愛知県文化振興事業団
その他	地元町内会、商店街振興組合、観光協会等
<連携・協力内容> ・国内外から70組程度のアーティストが参加予定。 ・流通業や製造業を始めとする様々な業界の企業・団体に協賛を募り、寄付金のほか、展示場所や作品の材料、ボランティアを支援する飲料、会場間輸送用の車などの提供を受ける予定。 ・今回、津田芸術監督の方針により、参加アーティストの男女比を1:1にする方向で調整しており、こうした取組みには、女性の活躍を支援する多くの企業から賛同が得られる見込み。 ・一部の協力企業には、傘下の店舗等でのポスターの掲示等を依頼するなど、広報の相互協力を実施する。 ・県内の芸術大学及び専門学校等には、作品制作のサポートを依頼し、学生に最先端の芸術の制作に携わる機会を提供する。 ・開催市、開催施設の学芸員と連携して、作家との調整や会場準備等を進めるなど、協働で事業を実施する。 ・県や市の観光部局と連携して県内外でのイベントの宣伝活動を行う等、入場者増と観光客増を図る。 ・まちなか会場においては、地元の町内会組織や商店街振興組合と定期的に会合を重ね、展示作品の意義等を共有し、本県と県民が一体となってイベントを盛り上げていく。	
10. 申請済(又は申請予定)の文化プログラム認証	
(1)東京2020公認プログラム	・申請済(認証番号:) ・申請予定 あり <input checked="" type="checkbox"/>
(2)東京2020応援プログラム	・申請済(認証番号:) ・申請予定 あり <input checked="" type="checkbox"/>
(3)beyond 2020	・申請済(認証番号:b020 000348) ・申請予定 <input checked="" type="checkbox"/> / なし
11. 新国立劇場との連携公演	
あり(公演名:)	<input checked="" type="checkbox"/>
12. 芸術文化振興基金への応募の有無	
<input checked="" type="checkbox"/> 応募している	②応募している(助成事業名:)

13. 平成31年度の具体的な事業又は取組					
実施年月日	事業名又は取組名	事業又は取組の内容	実施場所	参加者数	事業番号
①あいちトリエンナーレ2019(国際現代美術展)					
2019年8月1日(木)~10月14日(月・祝)	あいちトリエンナーレ2019(国際現代美術展)	<p>○現代美術の国際展(美術館及びまちなかでの展示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外から70組程度のアーティストが出品する国内最大規模の国際芸術祭 <p>○映像プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外から10組程度の映像プログラムを上映 <p>・愛知芸術文化センターや豊田市美術館のほか、まちなかの空き店舗や文化施設、歴史的建造物を利用して現代美術展を開催することで、文化資源の再評価、地域文化の発展、観光客の呼び込み、都市の賑わいを創出する。</p> <p>・本事業の開催を通じ、開催市、開催施設の学芸員や、文化芸術を支える人材の育成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知芸術文化センター ・名古屋市美術館 ・名古屋市内のまちなか(四間道・円頓寺) ・豊田市美術館 ・豊田市駅周辺 	来場者数 約50万人 (予定)	1
②あいちトリエンナーレ2019(モバイル・トリエンナーレ)					
2019年8月~9月	モバイル・トリエンナーレ	あいちトリエンナーレ2019の参加する複数のアーティストにより、短期間の展覧会を、県内の数か所の文化施設などで巡回開催する。	県内の4市町の文化施設等	来場者数 約4千人 (予定)	2
③					

愛知県

【収支予算書】

(収入の部)

(単位:円)

区分	予定額	備考
申請者自己負担額	248,494,717	
共催者等負担額	82,831,571	
自己収入	補助金・助成金	2,084,000
	寄附金・協賛金	71,400,000
	事業収入	125,787,000
	その他	5,000,000
	自己収入計	204,271,000
小計(A)	535,597,288	
国庫補助額	78,290,000	
合計(B)	613,887,288	

(支出の部)

(単位:円)

区分	細目	予定額	備考
補助対象経費	出演・音楽・文芸費	出演費	0
		音楽費	0
		文芸費	0
	舞台・会場・設営費等	舞台費	0
		作品借料	0
		上映費	0
		会場費	0
		運搬費	0
	賃金・旅費・報償費	賃金・共済費	0
		旅費	0
		報償費	0
	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	0
		消耗品費	0
		通信費	0
		会議費	0
	委託費等	委託費等	595,888,788
	小計(C)		595,888,788
	消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額		0
補助対象経費計(D)		595,888,788	
補助対象外経費	出演・音楽・文芸費	出演費	0
		音楽費	0
		文芸費	0
	舞台・会場・設営費等	舞台費	0
		作品借料	0
		上映費	0
		会場費	0
		運搬費	0
	賃金・旅費・報償費	賃金・共済費	0
		旅費	0
		報償費	0
	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	0
		消耗品費	0
		通信費	0
		会議費	0
		その他	0
	委託費等	委託費等	17,998,500
	小計(E)		17,998,500
合計(F)		613,887,288	

愛知県

【内訳書1】
(収入の部)

収入 事業別

(単位:円)

区分	内訳書	2-1	2-2	2-3	予算額 合計
	執行団体	あいちトリエンナーレ 実行委員会	あいちトリエンナーレ 実行委員会		
	事業名 (取組名)	あいちトリエンナーレ 2019国際現代美術 展	モバイル・トリエン ナーレ		
申請者自己負担額		246,176,495	2,318,222	0	248,494,717
共催者等負担額		82,058,831	772,740	0	82,831,571
自己 収入	補助金・助成金	2,084,000	0	0	2,084,000
	寄附金・協賛金	71,400,000	0	0	71,400,000
	事業収入	125,787,000	0	0	125,787,000
	その他	5,000,000	0	0	5,000,000
	自己収入計	204,271,000	0	0	204,271,000
小計(A)		532,508,326	3,090,962	0	535,597,288
国庫補助額		78,290,000	0	0	78,290,000
合計(B)		610,798,326	3,090,962	0	613,887,288

(支出の部)

(単位:円)

区分	内訳書	2-1	2-2	2-3	予算額 合計	
	費目	あいちトリエンナーレ 実行委員会	あいちトリエンナーレ 実行委員会			
		あいちトリエンナーレ 2019国際現代美術 展	モバイル・トリエン ナーレ			
補助 対象 経費	出演・ 音楽・ 文芸費	出演費	0	0	0	0
		音楽費	0	0	0	0
		文芸費	0	0	0	0
	舞台・ 会場・ 設営費等	舞台費	0	0	0	0
		作品借料	2,000,000	0	0	2,000,000
		上映費	0	0	0	0
		会場費	186,000,000	890,962	0	186,890,962
	賞金・ 旅費・ 報償費	運搬費	55,000,000	0	0	55,000,000
		賞金・共済費	178,400	0	0	178,400
		旅費	23,228,026	0	0	23,228,026
	雑役務費・ 消耗品費等	報償費	4,560,700	0	0	4,560,700
		雑役務費	195,000,000	1,400,000	0	196,400,000
		消耗品費	5,800,000	800,000	0	6,400,000
		通信費	3,700,000	0	0	3,700,000
	委託費等	会議費	0	0	0	0
		委託費	137,532,700	0	0	137,532,700
	小計(C)		592,797,826	3,090,962	0	595,888,788
消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額					0	
補助対象経費計(D)		592,797,826	3,090,962	0	595,888,788	
補助 対象 外 経費	出演・ 音楽・ 文芸費	出演費	0	0	0	0
		音楽費	0	0	0	0
		文芸費	0	0	0	0
	舞台・ 会場・ 設営費等	舞台費	0	0	0	0
		作品借料	0	0	0	0
		上映費	0	0	0	0
		会場費	0	0	0	0
	賞金・ 旅費・ 報償費	運搬費	0	0	0	0
		賞金・共済費	0	0	0	0
		旅費	0	0	0	0
	雑役務費・ 消耗品費等	報償費	0	0	0	0
雑役務費		15,000,000	0	0	15,000,000	
消耗品費		0	0	0	0	
通信費		0	0	0	0	
委託費等	会議費	0	0	0	0	
	その他	1,050,000	0	0	1,050,000	
小計(E)		17,998,500	0	0	17,998,500	
合計(F)		610,798,326	3,090,962	0	613,887,288	

【内訳書】

2-1	執行 団体名	あいちトリエンナーレ実行委員会
	事業名 (取組名)	あいちトリエンナーレ2019国際現代美術展

「収入の部」は紙媒体での提出は不要です。

収入合計
610,796,326

(収入の部)

(単位:円)

No.	区分	内 訳	(単価) × (数量) (単位) × (数量) (単位) + (調整額) = (金額)
1	事業収入	入場料収入	125,151,000
2	共催者等負担額	名古屋市からの負担金	82,058,831
3	寄附金・協賛金	協賛金	71,400,000
4	その他	広告掲載料収入	5,000,000
5	補助金・助成金	民間団体等助成金	2,084,000
6	事業収入	カタログ等販売収入	636,000
7	国庫補助額		78,290,000
8	申請者自己負担額		246,176,495
9			0
10			0
11			0
12			0
13			0
14			0
15			0
16			0
17			0
18			0
19			0
20			0
21			0
22			0
23			0
24			0
25			0
26			0
27			0
28			0
29			0
30			0
31			0
32			0
33			0
34			0
35			0
36			0
37			0
38			0
39			0
40			0
41			0
42			0
43			0
44			0
45			0
46			0
47			0
48			0
49			0
50			0

【内訳書】

2-2	執行 団体名	あいちトリエンナーレ実行委員会
	事業名 (取組名)	モバイル・トリエンナーレ

収入合計
3,090,962

(収入の部)

(単位:円)

No.	区分	内 訳	(単価) × (数量) (単位)	× (数量) (単位) +	(調整額)	= (金額)
1	申請者自己負担額		2,318,222			2,318,222
2	共催者等負担額	名古屋市からの負担金	772,740			772,740
3						0
4						0
5						0
6						0
7						0
8						0
9						0
10						0
11						0
12						0
13						0
14						0
15						0
16						0
17						0
18						0
19						0
20						0
21						0
22						0
23						0
24						0
25						0
26						0
27						0
28						0
29						0
30						0
31						0
32						0
33						0
34						0
35						0
36						0
37						0
38						0
39						0
40						0
41						0
42						0
43						0
44						0
45						0
46						0
47						0
48						0
49						0
50						0

愛知県

【委託内訳書】

2-1-1	執行団体名	未定
	事業名(取組名)	あいちトリエンナーレ2019国際現代美術展 会場管理・運営業務委託

補助対象経費計	補助対象外経費計	支出合計
112,268,500	1,948,500	114,217,000

(支出の部)

(単位:円)

No.	区分	費目	内 訳	(単価) × (数量) (単位) × (数量) (単位) + (調整額) = (金額)	補助対象外
1	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	作品監視・受付業務(土~木)	10,500 49 ポスト 58 日	29,841,000
2	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	作品監視・受付業務(金)	12,000 49 ポスト 11 日	6,488,000
3	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	作品監視・受付業務(予備・土~木)	10,500 5 ポスト 58 日	3,045,000
4	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	作品監視・受付業務(予備・金)	12,000 5 ポスト 11 日	660,000
5	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	作品監視・受付業務研修費	12,000 100 人 2 日	2,400,000
6	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	案内業務	15,000 5 ポスト 69 日	5,175,000
7	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	案内業務研修費	12,000 14 人 2 日	338,000
8	舞台・会場・設営費	会場費	設備管理業務	2,000 8 箇所 69 日	1,104,000
9	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	救急看護業務	950,000 1 式	950,000
10	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	映像プログラム来場者管理運営業務	12,000 1 ポスト 20 日	240,000
11	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	スタッフユニフォーム	1,000 204 人 2 着	408,000
12	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	警備業務(巡回)	97,200 1 式 90 日	8,748,000
13	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	警備業務(交通整理)	24,300 1 式 69 日	1,676,700
14	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	清掃業務	6,000 10 箇所 69 日	4,140,000
15	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	チケット配券臨時スタッフ	12,000 16 人	192,000
16	雑役務費・消耗品費等	通信費	郵送料(チケット、ポスター、チラシ等)	700 200 箇所 4 回	560,000
17	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	チケット販売業務(英文・市美・月~木)	12,000 4 ポスト 32 日	1,536,000
18	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	チケット販売業務(英文・8.9月・土日祝)	12,000 3 ポスト 21 日	758,000
19	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	チケット販売業務(英文・10月・土日祝)	12,000 5 ポスト 5 日	300,000
20	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	チケット販売業務(市美・8~10月・土日祝)	12,000 3 ポスト 28 日	936,000
21	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	チケット販売業務(まちなか・土~木)	12,000 2 ポスト 58 日	1,392,000
22	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	チケット販売業務(英文・市美、まちなか・金)	15,000 8 ポスト 11 日	990,000
23	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	チケット販売研修費	10,000 50 人 2 日	1,000,000
24	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	売上金回収業務	8,000 4 箇所 35 日	840,000
25	雑役務費・消耗品費等	その他	振込手数料	600 35 日	21,000 ○
26	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	金庫レンタル費等備品費	100,000 1 式	100,000 ○
27	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	ライドブック等販売業務(まちなか・土~木)	12,000 1 ポスト 58 日	696,000
28	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	ガイドブック等販売業務(まちなか・金)	15,000 1 ポスト 11 日	165,000
29	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	入場券管理センター問合せ対応スタッフ	200,000 0.50 人 7 ヶ月	700,000
30	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	通信費、消耗品費等	100,000 1 式	100,000
31	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	ボランティア研修①	75,000 6 回 1 日	450,000
32	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	ボランティア研修資料①	20,000 1 式	20,000
33	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	ボランティア研修②	75,000 6 回 1 日	450,000
34	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	ボランティア研修資料②	20,000 1 式	20,000
35	雑役務費・消耗品費等	通信費	通信料	82 3 回 800 通	196,800
36	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	ボランティア勤務ローテーションの配布	10 3 回 800 通	24,000
37	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	ボランティア保険(基本プラン)	250 800 人	200,000
38	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	ボランティア保険(特約)	150 800 人	120,000
39	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	ボランティア活動参加記念品	530 5,800 人	2,968,000
40	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	ボランティア手帳作成・配布	350 800 人	280,000
41	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	ボランティアユニフォーム	1,000 800 人	800,000
42	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	ボランティア証	150 800 人	120,000
43	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	ボランティアウェブサイトの運営	50,000 7 ヶ月	350,000
44	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	招待状の作成・発送	275 3,300 通	907,500 ○
45	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	オープニングレセプション申込受付等業務	300,000 0.80 人 2 ヶ月	480,000 ○
46	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	配布資料の準備	12,000 5 人 3 日	180,000 ○
47	出演・音楽・文芸費	文芸費	運営ディレクター人件費	100,000 1 人	100,000 ○
48	出演・音楽・文芸費	出演費	司会者人件費	100,000 1 人	100,000 ○
49	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	受付・案内	12,000 5 人	60,000 ○
50	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	経済波及効果等調査・分析業務	3,000,000 1 式	3,000,000
51	出演・音楽・文芸費	文芸費	経済波及効果調査専任ディレクター人件費	300,000 1 人 4 ヶ月	1,200,000
52	賞金・旅費・報償費	報償費	有識者謝礼	20,000 6 人	120,000
53	賞金・旅費・報償費	旅費	有識者ヒアリング旅費	29,000 3 回	69,000
54	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	会場アンケートシステム構築費	1,000,000 1 式	1,000,000
55	賞金・旅費・報償費	報償費	来場者分析アンケート謝品代	50 3,000 個	150,000
56	賞金・旅費・報償費	報償費	経済波及効果アンケート謝品代	100 1,000 個	100,000
57	雑役務費・消耗品費等	通信費	郵送料・雑費	250,000 1 式	250,000
58	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	コールセンター業務(会期前)	7,500 1 ポスト 12 日	90,000

59	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	コールセンター業務(会期中)	9,000	1	ポスト	68	日	612,000
60	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	特別協賛者対応業務	12,000	3	箇所	7	日	252,000
61	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	バス借上げ	150,000	3	台	7	日	3,150,000
62	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	バス同乗・会場案内スタッフ	18,000	3	台	3	人	162,000
63	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	プレスセンター運営	15,000	2	人	7	日	210,000
64	賞金・旅費・報償費	賞金・共済費	記録写真撮影業務	800,000	1	式			800,000
65	出演・音楽・文芸費	文芸費	全体管理①	400,000	0.50	人	8	ヶ月	1,600,000
66	出演・音楽・文芸費	文芸費	全体管理②	400,000	0.50	人	8	ヶ月	1,600,000
67	出演・音楽・文芸費	文芸費	会場ディレクター	300,000	3	人	3	ヶ月	2,700,000
68	出演・音楽・文芸費	文芸費	サブディレクター	280,000	5	人	3	ヶ月	4,200,000
69	出演・音楽・文芸費	文芸費	チケット管理担当	300,000	1	人	8	ヶ月	2,400,000
70	出演・音楽・文芸費	文芸費	ボランティア事務局	300,000	1	人	8	ヶ月	2,400,000
71	出演・音楽・文芸費	文芸費	ボランティア担当	250,000	1	人	5	ヶ月	1,250,000
72	雑役務費・消耗品費等	雑役務費	マニュアルの作成、印刷費	300,000	1	式			300,000
73	雑役務費・消耗品費等	通信費	通信機器準備費	1,000,000	1	式			1,000,000
74	雑役務費・消耗品費等	消耗品費	運営準備費	2,300,000	1	式			2,300,000

●実施計画書等変更箇所一覧

記載箇所	変更内容	変更の理由等
2. 実施計画の期間	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日	実施期間を変更したため 2018年4月1日 ~ 2023年3月31日
5. 実施計画の概要	<p>■2023年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいちトリエンナーレ地域展開事業(現代美術展、若手芸術家の育成の実施(予定)) <p>期間:2023年5月から2024年3月 主な内容:愛知県内(2020年度とは別の地域)での現代美術展及び学校へのアーティスト派遣事業の実施、愛知芸術文化センターでの若手芸術家育成事業、愛知県内での地元文化団体活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいちトリエンナーレ2025」の詳細プログラムの策定 	実施期間を変更したため 2018年4月1日 ~ 2023年3月31日
内訳書2-1	<p>チーフキュレーター業務委託 キュレーター業務委託(海外キュレーター) キュレーター業務委託(国内キュレーター) アシスタントキュレーター等業務委託 アーキテクト業務委託</p>	平成31年4月1日から平成31年4月24日までの間に契約したため、対象外とした。

実施計画内容調査票

実施計画における具体的な事業・取組について、あてはまるものすべてに○を記載してください。

分野									
文学	音楽	美術	写真	演劇	舞踊	映画	漫画	アニメーション	コンピュータ等を利用した芸術
		○							

分野									
雅楽	能楽	文楽	歌舞伎	組踊	講談	落語	浪曲	漫談	漫才

分野								
歌唱	茶道	華道	書道	食文化	囲碁	将棋	民俗芸能	その他

実施場所						
劇場・音楽堂等	美術館・博物館	学校・保育園・幼稚園等	福祉施設・高齢者施設・病院等	まちなか・野外公園・駅等	歴史的な建物・遺跡・名勝地等	左記以外
	○			○	○	

国際交流					
アジア	ヨーロッパ	北アメリカ	南アメリカ	アフリカ	オセアニア
○	○	○	○	○	○

参加者・出演者		
障害者	高齢者	児童